



災害ボランティア活動の多様な支援活動を受け入れる

じゅえんりょく 「受援力」ってどんな力？



発揮された受援力（池河内区）

何のためのパンフレットなの？

地震、大雨などによって被災地となってしまった場合に、ボランティアを受け入れる立場の人たちに参考にしていただくために作成しました。
いざ、被災したとき、ボランティアの支援を円滑に受け入れることができる一助になれば幸いです。

台風18号のボランティアから学ぶ

平成25年9月の台風18号で被災した際に、小浜市には、多くのボランティアが駆けつけて、被災地の復旧に力を発揮するなど、参加する側の「支援力」の定着が見られました。
しかし、ボランティアの受け入れは初めての経験というところが多く、なかには、地域の人々が毎日の受け入れ対応に追われ、負担がかかるなど、新たな課題も見えてきました。

受援力とは・・・

「受援力」とは、災害時にボランティアなどからの支援を受けられる力のことです。
地域外からのお手伝いを受け入れる環境を整えて、「受援力」を高めていきましょう。

災害ボランティアを受け入れる知恵

災害時：お手伝いの依頼の基本

身の回りの状況や誰が困っているのかなど、地域の状況をできるだけ具体的にお伝えすることが大切です。情報収集に努めましょう。

ボランティアは原則として、被災地に負担をかけないよう水・食事・衣服・宿泊場所等の準備を行ってきますので、食事・宿泊場所などの提供や報酬等も必要ありません。道具の貸し出し等も災害ボランティアセンターが行いますので、心配はいりません。困ったときはお互いさまなのでお手伝いしてもらいましょう。

受け入れをすることになったら、区長、民生委員など地域の実情を知っている地域のリーダーの人たちは、地元のボランティアとともに、パイプ役を務めるとスムーズに進みます。

支援のお願いを、災害ボランティアセンターに出すことによって、ボランティアの人たちがお手伝いにきてくれます。

ボランティア活動の基本

家財の片付けを家族や近隣だけにするのはとても大変ですから、ボランティアにお手伝いしてもらいましょう。

ボランティアに頑張ってもらっているからといって、依頼した人たちも一緒に無理して作業を続ける必要はありません。

一緒に作業をする際には、休憩中に災害のときの様子や地域の風習などを話したり、なぜ活動に参加したのか、どこから来たのか聞くなど、話をしてみてください。

なかなか家の中に知らない人たちを入れるのは抵抗感があるかもしれませんが、一度お手伝いをしてもらうと、気持ちが和らいできます。

受け入れ事例の紹介

ボランティアを受け入れた地域リーダーの声

加茂区は一人暮らしの家が多く、当初はボランティアの受け入れに身構える人もいました。そこで、わたしのような地元の人間が入り、地域の人に、安心してボランティアを受け入れてもらえる体制を作ることができました。



家屋・周辺の泥出しをしている様子（加茂区）

受援力をつけるには・・・

小浜市災害ボランティアセンターアドバイザーの助言

「力を貸す」と「力を借りる」が、うまくかみ合えば復旧復興は必ず早くなります。それは、被災者の負担が軽くなることで、まさに「減災」なのです。受援力の「力」は知恵です。
地域で知恵をつけることは、地域が強く元気になることでもあるのです。